

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 28日

(21人中20人回答)

事業所名：こども通所サービスにじいろプラス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員に合わせたスペースの確保ができています。	はい…17 どちらともいえない…3 ・普段活動するスペースは狭さを感じるが、活動に応じ上の階へ行くこともあるので十分である。	空間をうまく利用して安全に活動できるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	利用状況に応じて配慮できている。	はい…20	子どもの活動が十分に確保できるように対応していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	スケジュールをイラストで示したり、所持品の棚に顔写真を貼るなど、視覚支援に努めている。	はい…19 わからない…1 ・お湯が出せるようになってほしい。	お湯が出るようにした。今後も、個々の特性に配慮し、子どもの活動が十分に確保できる対応をしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	室内は、毎日の清掃に加えて、玩具の消毒を行っている。	はい…20	引き続き、衛生管理の徹底を図る。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日保育日誌を記入し、定期的なミーティングを重ねて、職員間の情報共有に努めている。		職員間で支援計画の共有をさらに深め、振り返りをしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	特別支援学校の元校長、当法人の理事、社労士等からの意見や小学校、病院等からの評価を活用している。		今後も様々な機関と連携していき、外部評価を受けるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員が積極的に各種研修会に参加する。他の事業所とのネットワーク会議に参加する。		支援に必要な研修会を内部でも実施していき、職員の資質向上に努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の様子観察を元に、本人、保護者のニーズの聞き取りを行う。その後、職員間で話し合い、適切な支援計画を作成している。	はい…19 どちらともいえない…1 ・通ってる幼稚園と連携して下されば、より課題が分析されるかも。	保護者の主訴を大切にしていき、幼稚園・学校の担任等との連携を図っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの発達に応じた集団活動や個別活動を計画している。		子どもそれぞれの発達に合わせ、わかりやすく、達成可能な計画を作成をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの特性、行動に応じた到達目標に対して、具体的な支援内容を記載している。	はい…20	できる限り、具体的な支援内容を設定し、記載していく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画作成に携わった職員を中心に、子どもの特性に応じて、個々の計画に即した支援を実施できるよう心がけている。	はい…19 どちらともいえない…1	現状に満足せず、今後も保護者との共通理解を図りながら、支援の向上に努めていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	外部講師を含め、職員それぞれの得意分野でアイデアを出し合いながら立案している。		職員全員が研修等をうけた経験・知識を生かしながら、外部講師と共にプログラムの立案・企画・準備に携わっていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では、いつもより早く通所する子どももいるため、時間の区切りをつけて行動することを意識させている。		区切りをつけて行動することで、目標を明確に意識させて活動していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1日のスケジュールの中で、固定化し習慣化する中で身につけていくプログラムと、季節に応じたイベントなどを取り入れながら立案している。	はい…19 いいえ…1 ・週1回の体操の日がいつも内容が変わらないのが気になる。	週ごとにプログラムを変えているが、欠席が続いた場合は、同じプログラムを受けることになる場合がある。今後も保護者との共通理解を図りながら支援の向上に努めていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、活動開始前に1日の内容や役割分担について確認作業をしている。また、当日の活動内容とねらいを掲示し、意識共有に努めている。		当日の職員だけが内容を把握するのではなく、関わる職員同士も内容の周知・連絡に携わっていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	活動終了後、振り返りをして意見交換をしたり、各職員が日報に記載し、全員が周知できるようにしている。		意見共有した内容を他の職員にも必ず連絡し、共通意識を図っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に活動記録を記載し、支援の振り返りに生かしている。		共有していく中で、いろいろな観点・取り組み方の進展に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に面談を行い、計画の見直しを行っている。		毎日の送り迎えの際に、1日の様子を伝えていく中で、今後の支援計画に繋げる。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	他の事業所との支援者会議に出席、参加している。	他の事業所に加え、行政との支援者会議にも参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園や小学校に子どもの様子を見学に行ったり、電話や書面で情報共有を行っている。	今後も諸機関との連携を図っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	対象者が必要な時のために、資料や情報の収集準備を行っている。	対応できるような情報収集に努めていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	小児精神科医、児童相談所、特別支援学校など、各種専門機関と連携を図り、事例検討会を実施している。	引き続き、いろいろな研修に参加・実施していき、資質向上に努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当法人の保育園との交流は実施している。また、地域のお子さんとの行事や戸外遊びに参加している。	はい…7 いいえ…8 わからない…5 ・今後地域の子どもたちと交流する機会があればよいと思う。 ・そのような活動はされているのかもしれないが、聞いたことはない。 ・とくに求めてないです。	他の地域機関との連携活動を増やしていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の絵本の読み聞かせグループの方に来て頂き、季節の読み聞かせ会を開催している。		今後も地域との交流事業を増やしていきたい。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用負担等については契約時に重要事項説明書で説明を行っている。	はい…20	今後も、保護者にきちんと説明ができるように努めていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的に保護者面談をし、支援計画の見直しを行っている。新たに作成した計画書を基に支援内容を説明している。	はい…20	子どもの実態・成長過程を重視して、丁寧な説明をしていくようにする。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニング講座(基本編、応用編)や、小児科医による講座を実施している。	はい…16 どちらともいえない…2 わからない…2	今後もニーズに沿った講座や勉強会を計画していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に幼稚園・学校や家庭での様子を聞き、事業所での子どもの状況を伝えている。また、連絡帳に日々の様子を写真付きで記載している。	はい…20 ・連絡帳で様子がよくわかる。	顔が見えている関係作りを、なお一層構築していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には随時対応し助言している。必要に応じて関係機関と連携を図っている。	はい…19 どちらともいえない…1 ・幼稚園での悩みも児発の時の姿を踏まえて助言を下さり、とても助かっている。 ・いつも相談した際は助言頂けて助かっています。	今後も引き続き、保護者の思いに添いながら支援していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会(就園前保護者対象、就学時保護者対象、全体保護者会)を開催し、支援者や保護者同士のつながりを図っている。	はい…17 どちらともいえない…1 わからない…2 ・保護者会も運動会も楽しかったです。 ・保護者会は開かれているが、回数を増やしてもよいと思う。	保護者のニーズを踏まえて開催していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する窓口を設置しており、万が一の際は、真摯に受け止め迅速な対応ができるようにしている。	はい…17 どちらともいえない…1 わからない…2 ・特に苦情を聞いたことがないので分からない。	保護者が話しやすい環境整備に努める。
保護者への説明責・連携支援(続き)	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に合わせ、イラストや簡単な手話を使った視覚支援をしている。保護者には送迎時や連絡帳で意思の疎通を図っている。	はい…20	それぞれの子どもたちに対応していけるように心がけている。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の予定を掲示したり、HPの活用、お迎えに来られた時に手紙を配布し、説明をしている。	はい…14 どちらともいえない…2 いいえ…1 わからない…2 記載なし…1 ・施設にも行事予定は貼っているが、ホームページでも開所日等の予定のお知らせがあると助かる。	HPの活用や連絡帳の利用等による情報提供を工夫する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の使用、提供について書類で説明し同意を得ている。	はい…17 どちらともいえない…1 わからない…1 記載なし…1	個人情報については、守秘義務の徹底に努める。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	「感染症対策委員会」を設置すると共に、各マニュアルを策定し、職員全員に徹底している。 また、不審者侵入時等の緊急時や、感染症予防の研修を実施している。	はい…17 どちらともいえない…1 わからない…2	今後も「感染症対策委員会」を中心に、研修、訓練を実施していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練(不審者・地震・火災・水害)を行っている。	はい…14 どちらともいえない…1 わからない…5	これからも、定期的に避難訓練を実施していく。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	「虐待防止委員会」を設置し、職員間での研修を研修を実施し、意識の向上を図っている。		定期的な研修会の実施や事例検討会への参加。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者に十分説明をしている。		子どもの実態を把握し、療育中、安全に過ごせることに重点を置いていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5 食物アレルギーのある子どもに対する 医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無を確認し、保護者からの申し入れがあれば、医師からの診断書を提出してもらい、対応している。		職員同士で情報共有し、アレルギー対応には責任をもって対処する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有、再発防止に努めている。		日常の中で、常に意識を持つように周知徹底に努める。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		はい…17 どちらともいえない…1 わからない…2 ・行きたがらない日もあるが、行くと楽しそうにしている。 ・最初は嫌がっていましたが、今ではノリノリで通っています。	今後も子どもたちにとって、楽しく安心して過ごせる場となるよう努めていく。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい…20 ・親子体操につながる事ができて本当に良かったなど、とても思っています。 ・満足している。子どもがのびのびと活動でき、保護者として嬉しい。	今後も保護者と情報共有をしながら、支援の向上に努めていく。